

謹賀新年



明けましておめでとうございます。市民の皆様には、平成31年の輝かしい新春を、健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。旧年中は、市政運営に対し、あたたくいご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、11月に開催された「大分国際車いすマラソン」において、本市出身の喜納翼選手が2回連続で優勝する快挙を成し遂げました。今年開催される世界選手権で4位以内に入賞すると、東京パラリンピック代表候補選手として推薦されることから、その活躍を願っております。

また、『第3回全国小学生「私たちのくらしと水」壁新聞コンテスト2017』において、県内で初めて「最優秀賞」を受賞した銘荊菓子さん（赤道小6年）に「うるま市青少年特別賞」を授与しました。昨年は「第13回琉球新報学校新聞コンクール」にて県知事賞を受賞したほか、同コンクールにおいては、赤道小学校の児童が各賞を受



明けましておめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。旧年中は、議会活動と市政の推進に対し、格別のご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

本年も、更なる市民福祉の向上と市政発展のため、市議会議員一丸となって市民に開かれた議会運営に努め、市議会としての責務を果たして参る所存であります。

ご承知のように、昨年9月には、合併後4回目となる市議会議員選挙が執行され、当選された30名の議員は決意も新たに議会活動に専念しており、必ずや市民の負託に応えるものと確信しております。

また、本市議会は、これまで、議会ホームページや議会だよりによる情報発信、また、インターネットによる本会議のライブ中継や過去の本会議録画映像の配信を実施するなど、市民に開

賞するなど目覚ましい活躍がありました。

新沖縄県知事に、うるま市にゆかりのある玉城デニー氏が就任しました。新知事として国と連携し、均衡ある県域発展を目指して、沖縄振興策の推進を強く望みたいと思います。

米軍の事件・事故については、1月に伊計島で連続して、ヘリコプターの不時着やオスプレイの部品落下事故が複数あり、パラシュート降下訓練の増加傾向に市民の不安が募っており、日米両政府に訓練の中止と事故の再発防止について強く求めたいと思います。

台風24号の襲来により、石川屋内運動場など公共施設等の破損や3日間昼夜にわたる停電被害などがありました。あらためて災害に対する備えの重要さや自助、共助、公助の役割などを認識し、なお一層、災害に強いまちづくりを推進してまいります。

市政においては、うるま市初の女性教育長、嘉手苺弘美氏が6月に就任しました。また、9月の市議会議員選挙では新人7人を含む30人の議員が当選されました。市政発展のため今後の活躍を期待しております。

県内初の取り組みとして、石川中学校の既存施設を活用し「みほそ小規模保育事業所」と「みほそ第二小規模保育事業所」を開所しました。

また、待機児童解消に向け、保育所等の整備を推進し、約800名の定員増を図りましたが、更なる待機児童解消を目指してまいります。

さて、昨年の出来事を振り返ってみますと、米軍による事件・事故が相次ぎました。1月の本市伊計島で米軍UH1Yヘリコプターの不時着をはじめ、2月には、伊計島の海岸でMV-22オスプレイの部品落下事故、津堅島訓練場水域におけるパラシュート降下訓練が増加するなど、重大な事故につながる可能性があることから、市議会では、これらの事件・事故原因の究明や再発防止・訓練中止、日米地位協定の改定などを強く要請致しました。

8月には、3年ぶり4回目となる「子ども議会」が開催されました。市内の各中学校から選ばれた25人の子ども議員らは、市政やまちづくりなどに関する質問や意見、希望、疑問等について議論致しました。将来、子ども議員の中から市議会議員が誕生することを強く願っております。

10月には、県内初、石川中学校敷地内にみほそ小規模保育事業所・みほそ第二小規模保育事業所が開所致しました。待機児童の解消だけではなく、中学生の情操教育やキャリア教育にもつながるものと期待しております。

また、11月には、本市農水産物に特

増を図りましたが、更なる待機児童解消を目指してまいります。

11月には、市民待望の「うるまマルシェ」がグランドオープンしました。生産者の皆様や、丹精込めた生産物の販売拠点として、新たな賑わいを生みだし、農水産業振興と更なる雇用の創出、市民所得の向上につながることを期待しております。

島しょ地域振興については、情報格差を解消して移住定住を促進するため本島と同様な光ファイバー網の整備により、働き方改革にもつなげてまいります。

待望の与那城庁舎跡に本格的な宿泊施設建設計画が進み、民間の宿泊施設も増えるなど、着実な滞在型観光への転換は、雇用創出や地域経済活性化につながるものと期待されます。

本年も、第2次総合計画に基づき「市民協働によるまちづくり」をスローガンに、地域資源を生かしながら、市民の皆様が安心して、いきいきと暮らせる魅力あるまちづくりに取り組んでまいります。引き続き、市政に対するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新春の門出にあたり、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。年頭の挨拶といたします。

うるま市長 平成31年元旦

島袋 俊夫

化した直売所「うるまマルシェ」が開業し、グランドオープンの日は、大勢のお客様で賑わいました。この公設民営による取り組みは、本市生産品のブランド化や雇用の創出拡大など、うるま市の農水産業の振興に大いに寄与するものと確信しております。

迎えた平成31年は、勝連城跡周辺整備事業などの地域活性化事業の推進を始め、本市の将来を担う子どもたちの教育環境の整備事業として、昨年の勝連小学校校舎改築につき、本年は、赤道小学校と宮森小学校校舎改築が予定されております。

市議会としても「市民が夢と希望を育てる魅力あるうるま市」の実現に向け、経済対策や地域活性化、安心、安全なまちづくりに寄与するこれらの諸事業の推進に、全力で取り組んで参ります。

どうか、本年も市議会に対し、皆様の尚一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、新しい年が市民の皆様にとりまして、健康で素晴らしい一年でありますよう心から祈念申し上げます、新年の挨拶といたします。

うるま市議会議長 平成31年元旦

幸地 政和